

## 1 取組の概要及び成果等

### (1) 取組の概要

調査研究課題 命の大切さを学ばせる体験活動のプログラム及び指導方法の開発について

#### ① 農業・自然体験活動の企画とその指導・援助の学習

(農業体験田植え, 稲刈り, サツマイモ苗植え・掘りとり, 動物とのふれあい, ビオトープ自然体験)

#### ② ボランティア活動

(幼稚園児への本の読み聞かせ活動, 草花プランターの配付, 花壇づくり)

### (2) 特に工夫や配慮をした事項

#### 1) ねらい

2) 農業・自然体験活動の企画と, その指導・援助を行う学習に当たっては, 下記の点に重点を置く。

- ① 農業のもつ多面的な機能を活用し, 農業・自然体験活動の受け入れと企画ができる。
- ② 農業体験や自然体験を展開することができ, その指導ができる。
- ③ 受け入れた児童・生徒などに対し, 安全な指導と心のこもるサービスの展開ができる。

### 3) ボランティア活動の展開に当たっては, 下記の点に重点を置く。

- ① 幅広い対人関係をとおして, 豊かな自己表現力を身につけさせる。
- ② 高齢者や地域の人々の様々な生活に触れる中で, 自分の人生や自分の生き方を考える機会とする。

### (3) 成果等

#### 1) サツマイモ栽培体験指導・援助の学習

##### ① 植え付け体験指導援助 平成18年6月16日

那珂市立五台幼稚園 園児 4歳児35名 5歳児26名 計61名, 引率教員 5名  
本校生徒 「グリーンライフ」履修者 14名

##### ② 芋掘り体験指導援助 平成18年10月13日

那珂市立五台幼稚園 園児 4歳児35名 5歳児26名 計61名, 引率教員 5名  
本校生徒 「グリーンライフ」履修者 14名

前年度の課題の解決に向けた展開を図った。作業前のグループごとの交流会や紙芝居を取り入れた展開など, 充実した内容となった。また, 収穫した芋の試食会を計画し実施した。取れたてのおいしさを味わう機会となって, 園児, 生徒双方にとって良い体験となった。

体験活動のあと, 本校から写真付きの手紙を幼稚園に送付した。幼稚園からは園児ひとり一人の手作りによる感謝状を2回いただくなど, 体験をとおしてふれあいが深

まった。

## 2) 農業体験活動の企画とその指導援助の学習（稲作）

那珂市立五台小学校5年生79名「総合的な学習の時間」の稲作指導

- ① 栽培学習指導援助田植え 平成18年6月2日
- ② 栽培学習指導援助稲刈り 平成18年10月5日
- ③ 餅つき収穫祭 平成18年11月29日

実施した結果、①分かりやすく教えるということの重要性やその難しさ ②安全に実施することの大切さ ③農業高校の地域への貢献の大切さ④収穫の喜びを小学生とともに共有できた

## 3) ふれあい祭り（水戸市立梅が丘小学校）小学生の販売学習の援助 平成18年11月11日

販売品日本校生産物（米，サツマイモ，乾麺，ダイコン，チンゲンサイ）

当日の天候により，体育館内での販売となった。

ア 販売した小学生の生き生きとした様子からも販売は成功であった。

イ 本校生徒も，販売を通してお互いに交流を図ることができた。

ウ 本校の農産物の生産や，有機栽培の生産物などについても，小学生や地域の方に理解してもらうことができた。

## 4) 本の読み聞かせ活動

那珂市立五台幼稚園で実施。児童と明るく接する態度や豊かな表現力などを習得することができた。

## 5) プランター配付 平成18年7月と19年3月（実施予定）

農業クラブ役員が栽培したものをプランターに植栽し地域の6関係機関に配付。農業高校でできることを，地域に広めることの大切さを生徒も理解している。地域環境の美化に貢献できた。

## 2 学校の推進体制と学校支援委員会の活動

### (1) 学校の推進体制と学校支援委員会の活動の概要

校長の監督の下，担当教頭，農場長を中心に，関係学科（農業科，園芸科，畜産科），生徒会（成達会），農業クラブなどの校務分掌の担当者がこの事業を推進した。

豊かな体験活動推進事業反省会を平成19年3月2日実施した。五台小学校教諭2名と，本校の関係職員9名が参加して事業の反省と課題について話し合った。次年度の計画立案に参考となる意見が多くでた。

### (2) 成果等（推進体制の充実，関係者との連携・協力の観点から）

- ① 日頃から本校で取り組んでいる体験活動について，体験活動のプログラムの開発や指導・援助の学習の指導方法について研究することが出来たことは有意義であった。学習の展開の中で，準備の大切さや安全な学習への配慮など，基本的なことを徹底すること

の重要性を再確認することが出来た。

- ② 地域指定の協力校との事業も、円滑に進めることができた。小学校、幼稚園などと連携した活動は、お互いのメリットも多い事業であることを認識した。

### 3 今後の課題と改善点

体験活動の中で、「命の大切さ」をはぐくむという視点は極めて重要なことである。学習活動の中で「命の大切さ」を基本とし、日頃の実験・実習や体験学習を展開していきたい。